

(第四類 第二號)

(四二)

第四十九回帝國議會
衆議院

請願委員第一分科(内閣、大藏省所管及他ノ分科ニ屬セサルモノ)會議錄(速記)第一回

會議

大正十三年七月七日(月曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

主 査 川崎安之助君

石川安次郎君

井上敬之助君

平井光三郎君

兼務

岡田伊太郎君

秋田寅之介君

出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長

法制局長官

大藏省主税局長

大藏省理財局長

專賣局長官

國有財産整理局長

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル議員左ノ如シ

永井柳太郎君

中村啓次郎君

牧野 良三君

高島 兵吉君

福井 甚三君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一金鶏勳章年金改正ノ件(第一號乃至第一

〇九號、第一二一號乃至第一三四號、第一四

三號乃至第一五五號、第一五九號乃至第一六五號、第一六八號乃至第一八五號、第一九五號乃至第一九八號、第二〇〇號、第二〇一號、第二〇四號乃至第二一九號、第二二三號乃至第二四二號、第二四九號乃至第二五一號、第二五三號、第二五七號乃至第二六二號、第二六五號乃至第二七六號、第二八四號)

二 元青島守備軍民政部鐵道部所屬文官待遇者ニ恩給付與ノ件(第二二〇號、第一八六號)

三 恩給法中改正ノ件(第二五四號)

四 元屯田兵豫備役服務期間ヲ恩給年限ニ通算ノ件(第二四六號、第二四七號)

五 皇位並紀元算定ニ關スル件(第一九一號)

六 印紙稅法中改正ノ件(第一一二號)

七 國有地寺院境内無償下戻ノ件(第一一四號、第一一五號)

八 德島縣、兵庫縣ニ於ケル鹽賠償ニ關スル件(第一四〇號、第一四一號)

九 秋港開港ノ件(第二七八號)

一〇 農家救済ノ件(第一四二號)

一一 萬國貨幣法統一ノ件(第一九〇號)

〇川崎主査 是ヨリ開會致シマス、審査ノ順序ヲ豫メ申シテ置キマス、先ヅ紹介議員ノ辯明ヲ承テ、サウシテ政府ノ意見ヲ聽ク必要ガアレバ政府ノ意見ヲ聽イテ、其上デ決定シタイト思ヒマスカ

ラ左様御承知ヲ願ヒマス——日程第一、金鶏勳章年金令改正ノ件文書表第一號乃至第一〇九號、第一一二號乃至第一三四號、第一四三號乃至第一五五號、第一五九號乃至第一六五號、第一六八號乃至第一八五號、第一九五號乃至第一九八號、第二〇〇號、第二〇一號、第二〇四號乃至第二一九號、第二二三號乃至第二四二號、第二四九號乃至第二五一號、第二五三號、第二五七號乃至第二六二號、第二六五號乃至第二七六號、第二八四號、之ヲ一括シテ議題ト致シマス、ドウカ紹介議員ハドナタカ代表デ御辯明ヲ願ヒマス

〇永井柳太郎君 金鶏勳章年金増額ニ關スル請願者ノ請願理由ヲ大體御紹介申上ゲマス、御承知ノ通り金鶏勳章ハ特ニ拔群ノ武勳ヲ表彰スルガ爲ニ賜ルコト、ナツテ居ルノデアリマシテ、此勳章ニハ年金ヲ附與スルノデアリマス、然ルニ外ノ武勳ヲ表彰スル勳章ニハ一時賜金ノ規定ガアリマシテ、其一時賜金ハ經濟界ノ變遷ニ伴ヒ、金銭價值ノ變遷ニ從ヒマシテ幾度力變更セラレテ居ルノデアリマス、即チ他ノ武勳者ニ對スル一時賜金ハ金鶏勳章ノ功七級以下ニ相當スル武勳者ニ對シマシテ、最初ハ一時賜金五十圓トナツテ居リマシタガ、ソレガ日露戰爭ニハ三百圓ニ増額セラレ、大正戰役ニハ更ニ一千圓ニ増額セラレ、ト云フ風ニ、展、其一時賜金ノ金額ニ變化ヲ來シテ居リマス、然ルニ金鶏勳章ニ對スル年金ニ至リマシテハ、最

初ニ制定セラレテカラ今日ニ至ルマデ、何等ノ變化ガナイノデアリマス、殊ニ金鵄勳章ノ年金ハ其功級ニ從テ其金額ヲ異ニシテ居リマシテ、准士官、下士卒ニ對シマシテハ最初ハ功七級ノ金鵄勳章ヲ與ヘテ、ソレカラ准士官ハ功五級ヲ上ラズ、下士卒ハ功六級ニ至テ止ル規定ガアリマスガ、此功五級、功六級、功七級ノ者ニ對スル年金額ハ、今日ノ經濟界ノ狀態カラ見マスルト非常ニ小額デゴザイマス、即チ功七級ノ者ニ對シテハ年金僅ニ百圓、功六級ノ者ニ對シテハ二百圓、功五級ノ者ニ對シテハ三百圓ヲ出デナイノデアリマス、然ルニ此金鵄勳章ノ年金令ガ最初ニ定メラレマシタ其當時今日トノ經濟界ハ大ニ趣ヲ異ニシテ居リマシテ、其當時ノ百圓ノ金錢價值ハ今日ハ五分ノ一乃至十分ノ一ニモ及バナイト云フヤウナ狀態デアリマス、最初カラ金鵄勳章ニ對シテ年金ヲ附與シナイノナラバ何ラカ言ハン、併シ年金ヲ附與致シマシテ、サウシテ其者ニ對スル國家ノ感謝ノ意思ヲ表示シ、其者ノ武勳ニ對シテ丁度封建時代ニ大祿ヲ加増シタヤウニ、其武勳ニ對シテ特ニ物質上ノ表彰ヲスルト云フ規定ニナツテ居リマスル以上ハ、其物質上ノ功勞ノ表彰ハ、矢張其時代ノ經濟上ノ實狀ニ適合シタルモノデナケレバ意味ヲ爲サナイト思フノデアリマス、ソレガ爲ニ一般ノ武勳ニ對スル一時賜金ノ金額モ増額サレタノデアアル、ソレカラ其他官吏ノ俸給ノ如キモノヲ見マシテモ、恩給ヲ見マシテモ、現ニ吾々議員ノ歳費ヲ見マシテモ、總テ此經濟界ノ實狀ニ從テ増額サレテ居リマス、現ニ此金鵄勳章ノ年金令ノ定メラレマシタ當時ノ代議士

ノ歳費ノ如キモノモ、一年僅ニ八百圓ニ過ギナカッタノガ、今日ハソレガ三千圓ニ増額サレテ居ル、其三千圓デサヘモ到底今日ハ代議士ノ歳費トシテ必要ヲ充タスニ足りナイノデアアツテ、今日ハソレヲ五千圓ニモ六千圓ニモ増額シナケレバナラナイト云フ議論ガ代議士ノ多數ノ間ニ起テ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ改正サヘ將ニ行ハレントシテ居リマスル狀態デアアルノニ、獨リ金鵄勳章ノ年金ガ此經濟界ノ大ナル變動ト沒交渉ニ依然トシテ日清戰爭當時ノ狀態ニ止テ居ルト云フコトハ、確ニ年金ヲ附與シタ當時ノ精神ニ悖ルト考ヘルノデアリマス、ソコデ、本請願ノ請願者ハ、時勢ノ要求ニ應ジテ金鵄勳章ノ年金ノ増額ヲ許サレタイト云フコトノ請願ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ此金鵄勳章ノ年金令ノ第三條ニ於キマシテハ、金鵄勳章ノ年金ハ其受領者ガ死亡シタ場合ニハ、其遺族ガ引續イテ一年間其年金ヲ受ケ得ルト云フコトノ規定ガアリマス、又其年金ヲ受ケベキ本人ガ早ク死亡スルカ、或ハ戰死シテ本人及其遺族ヲ通ジテ年金ヲ受領スル期間ガ五ケ年ニ充タナイ場合ハ、其遺族ノ者ガ五十年間引續イテ其年金ヲ受ケルコトガ出來ルト云フ規定モアルノデアリマシテ、金鵄勳章ノ年金ハ當ニ本人ノ武勳ヲ表彰シタ云フダケノ單純ノ意味ニ止マラズ、其武勳者ヲ出シタル遺族ノ者ノ生活ニ對シテモ、武勳者ヲシテ憂ナカラシムルト云フ意味ヲ帶ビテ居ルノデアリマスカラ、殊更此年金額ハ經濟界ノ變遷ニ伴ウテ、金錢價值ノ變遷ニ伴ウテ次第ニ増額セラルヘキ必要ガアルト思フノデアリマス、是等ノ點ヲ考慮セラレマシ

テ、政府ハ速ニ本請願ノ趣旨ヲ採擇セラレ、年金額ノ増額ニ付テ特殊ノ御取計アラントヲ希望セザルヲ得ナイノデアリマス、簡單ニ請願者ノ趣旨ノ在ル所ヲ述ベマシテ、尙ホ當委員會ニ於キマシテモ何卒御採擇アラントヲ希望スルノデアリマス、其他ノ細目ニ付キマシテ御質問ガアリマスレバ、私ノミナラズ外ニ同ジ種類ノ請願者ノ代表者モ來テ居リマスカラ、ソレ等ノ紹介者カラモ追加アルコトデアラウト思ヒマス

○川崎主査 何方カ説明ノ補足ヲサレマスカ、別ニアリマセスカ

○中野寅吉君 金鵄勳章ノ年金ハ生活ヲ保障スルノデナイカラ、恩給ト同一ニ視ルコトガ出來ナイト言フ豫備ノ少將ガアル、議席ニ居ル者デアリマスカ、是ハ大ニ間違テ居リマス、物質的ノ表彰デアッタナラバ、矢張時ノ變遷ニ伴ヒ、金ノ價值ノアルヤウニシテ與レナケレバ何等意味ヲ成サスト思ヒマス、金鵄勳章ヲ貰フヤウナハ一身一家ヲ顧ミズ自分ノ全精力ヲ一時ニ出シテシマッタ人デアリマスカラ、一層ソレヲ認メテヤラナケレバナラス、恩給取リノヤウナ者ハ、上官ノ御聲ノ應ヲ拂ッテ朝カラ晩マデ視箱ノ蓋ヲ取ッテ見タリ据ヘテ見タリシテ十五年二十年ヤッタ者デ、全精力ヲ傾倒シテヤッタト認メラレナイ者モ居リマス、ソレカラ官ヘバ砲煙彈雨ノ中ニアツテ一身一家ヲ顧ミズ國家ノ爲ニヤッタト云フ武勳者タル者ニ對シテハ、ヨリ以上物質的ノ金ヲヤラナケレバナラスト思ヒマス、ソレデ金鵄勳章ハ生活ノ保障ノ意味ニナツテ居ラナイト云フノハ愚論デアリマス、太

ニ含シテ居ルト思ヒマス、金鵄勳章ヲ貰フヤウナ
人ガ金ヲ請求シテハ餘リ男ヲシクナイデハナイカ
ト云フ議論モアリマスガ、ソレハイカス、一ツノ
モノヲ半分宛ニシテ與ヘレバト云フコトニナレバ
大變結構デアリマスガ、併シソレハ分配ヲ公平ニ
スルト云フコトニナツテシマフ故ニ、私ハダラダ
ラト十五年二十年過ゴシタ人ニ恩給ト云フモノヲ
與ヘテ、生活ノ保障ヲスルト云フデアリマスカ
ラ、況ヤ全精力ヲ傾倒シタ人ニ對シテ生活ノ保障
ハ政府ニ於テ與ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ド
ウカ御採擇ヲ願ヒマス

○中村啓次郎君 大體只今永井君、中野君ノ申サ
レタ事デ盡キテ居リマス、ドウカ財政逼迫ノ折柄
デアリマスガ、此國家ノ殊勳者ニ對シ遺憾ナカラ
シムルヤウ御取計ヲ願ヒタイト思ヒマス、速ニ御
採用アラントヲ希望致シマス

○塚本政府委員 此問題ニ對シマシテハ別ニ議論
ハ之ヲ避ケマシテ、政府ノ見ル所ヲ一應申上ゲタ
イト存ジマス、金鵄勳章及其年金ハ只今御説明ニ
アリマシタ通り、一身ヲ挺シテ君國ノ爲ニ捧ゲタ
人ノ赫々タル勳功ヲ表彰スル所ノ至大ナル名譽ノ
表彰デアアルコトハ、洵ニ其通りデアリマス、故ニ
之ヲ受ケラレタ人達ノ一般國民ニ對シテ類ナイ誇
リデアアルデアリマス、又國民モ之ヲ洵ニ羨ムベ
キ光榮トシテ、其功勞者ニ對シテ常ニ感謝ノ意ヲ
表シ、又其名譽ヲ稱ヘテ居ルデアリマス、其勳
章ニ伴フ年金ハ即チ勳功ノ表彰ノ性質ヲ專ラ帶ビ
テ居ルト私共ハ考ヘル、恩給ノ如キ、或ハ俸給ノ
如キ、或ハ歳費ノ如キモノトノ御比較論モ承リマ

シタケレドモ、恩給ノ如キハ申スマデモナク、官
吏或ハ公吏等ガ多年國家ノ事務其他公ノ事務ノ爲
ニ奉公ヲ致シマシテ、其身心ノ經濟的活動ヲ許サ
ザルニ至ラタ官吏、若クハ公吏ヲ罷メタ以後ニ於
テモ相當ノ地位ヲ保チツ、生活ノ出來ルヤウニ其
保障ノ爲ニ賜ハル所ノ物質的給與デ、是等ニ對シ
テコソ貨幣價值ノ騰貴ニ伴ウテ其生活費ガ昂マル
ニ應ジテ、相當ノ増額ハ已ムヲ得ヌト考ヘルノデ
アリマス、併ナガラ金鵄勳章年金ノ如キ今申上ゲ
タ性質ノ名譽ノ表彰デアアルト云フコトデアアルノデ
アリマスルカラ、恩給ノ如ク物價ノ騰貴ニ伴ッテ
増額サルベキモノトハ考ヘナイ、必ズシモサウ云
フモノデハナカラウト思フデアリマス、殊ニ金
鵄勳章年金増額ト云フコトヲ考ヘマスル場合ニ
ハ、他ノ勳章ニ伴フ年金ノ増額モ併セテ研究シテ
論ズベキモノデモアリマセウト思ヒマスシ、又今
日金鵄勳章年金ヲ受ケテ居ラル、人達ノ金額ヲ總計
致シマスト云フト、必ズシモ少額デナイデアリマ
ス、之ヲ増額スルト云フコトノ場合ニハ財政上ニ
モ相當影響アルコトデアリマスルカラ、ソレ等ノ
點モ能ク研究ヲ遂ゲナケレバナラヌコト、思フ、
旁、以テ政府ニ於キマシテハ今直ニ之ヲ増額スルコ
トガ適當デアルト云フコトヲ認メ難イノデ、大體
政府ノ見ル所ハ右ノ次第デアリマス

シテアリマス、今御出ニナツテ前ノ人ガドウ云フ
説明ヲシタカ分リマスマイ
○田淵豐吉君 分ッテ居リマス、紹介者ニ説明ヲ
許スノガ原則デナイカ、何ヲ言ッテ居ル、委員諸
君ニ任シテ居ルト言フガ、諸君ニ任シテハ居ナ
イ、紹介者ハ説明スル權利ヲ持ッテ居ルジヤナイ
カ
○川崎主査 委員諸君ハ如何デス
○田淵豐吉君 紹介者ノ説明ヲ許スノガ何ガ惡
イ、説明スル權利ヲ持ッテ居ル、委員長許サヌデス
カ
○川崎主査 許シタラ際限ガナイデス
○田淵豐吉君 僕ニ何故許サヌ、君諸ガソナ權
能ハ持ッテ居ラス
○川崎主査 他ノ諸君ニ關係ハ無い、私ガ許サナ
イ
○田淵豐吉君 私ハ金鵄勳章ニ付テハ重大問題ダ
カラ、私ノ意見ニ依ッテ補足ヲ爲シ、政府ノ答辯
ヲ促ス爲ニ紹介スル爲ニ來テ居ル、然ルニ何ガ故
ニ諸君ニ任シテアルト云フコトデ許サナイノデス
カ
○川崎主査 紹介議員ノ説明ノアツタ時ニアナタ
ハ來テ居ラレナイノデ、モウ濟ンデ居リマス
○田淵豐吉君 マダ濟ンデ居ラス
○川崎主査 サウ云フコトニナルト議事ノ進行カ
出來マセヌ
○田淵豐吉君 議事ノ進行ハ妨ゲヌ、五分間デ濟
ム、許サヌデスカ
○永井柳太郎君 私ノ先程申シマシタ説明ハ、金

大正十三年七月八日

四

鶏動章年金ト云フ請願者ノ紹介ヲ代表シテノ意味ノ説明デハアリマセヌ、私ノ紹介シテ請願ニ對シテハ私ガ責任上説明シタノデアリマシテ、私ガ田淵君ノ紹介サレタ請願ノ説明ハ致シテ居ナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○川崎主査 其事ハ分ッテ居リマス

○田淵豐吉君 委員長ニ聽イテ置キマス、紹介者ハ何時何分マデニ來ナケレバ、此問題ニ付テ發言ガ出來スト云フコトガアリマス、今進行中ニ在ルノデアリマセヌカ、神聖ナル議員ノ職務ヲ行フノ妨害スルトコトハナイ、諸君ハ重大ナ問題ヲ議スル爲メ此處ニ集ッタノデハナイカ

○川崎主査 委員諸君ニ御諮リ致シマス、主査ニ於テハモウ既ニ紹介議員ガ三名マデ同ジヤウナ事ヲ説明サレテ居ルノデスカラ、主査ニ於テハ聽ク必要ガナイト思ヒマス、併シ委員諸君ニ於テ尙ホ説明ヲ求ムルト云フ御意見デアレバ許サウト思ヒマス如何デス

○岡田委員 只今御諮リニナツタ事ニ付キマシテ、田淵君バカリデナイ、幾ラモサウ云フ御方ガアルデアラウト思フ、併ナガラ此問題ハ重要ナ事ト致シマシテ、既ニ紹介議員ガ三方モ之ニ對シテ懇切ナ御紹介ガアリマシタ、若シ是ハ何某ノ分、何議員ガ紹介サシタト云フ方面カラ參リマス、各、何百通ト云フモノガアルト云フコトデ、サウスルト何百人ノ紹介議員ガ紹介シナケレバナラヌ、是ハ必ズシモ其分ニ對シテ一人一通ト云フコトニ限ッタ譯デモアリマセヌシ、ソレカラ又場合ニ依レバ紹介議員ノ説明ヲ要セズシテ委員會ハ採否ヲ

決スル場合モアルノデアリマス、デアルカラシテ私ハ此問題ハ既ニ前議會及前々議會ニ於テモ能ク審議セラレタコトデアリマシテ、前議會デハ採擇ニナツテ居リマス、故ニ是ハ政府當局ノ御意見モ尙ホ此場合質シテ、サウシテ採擇スベキモノデアルト云フコトヲ本員ハ考ヘテ居リマス、居リマスガ、唯ミ請願委員會ノ秩序ヲ保ツ上ニ於キマシテ、只今ノ田淵君ノヤウナ模様デ委員長ニ御請求ニナルト云フコトハ、餘リ穩當デナイト思フノデアリマス、併ナガラ此場合ハ折角ノ事デアリマスカラシテ、ドウ云フ變ッタ御紹介ガアルカモ分リマセヌガ、成ベク是ハ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、而シテ尙ホサウ云フ風ニナツテ行キマスト色々ノ議論ガ出マセウガ、餘リ御意見ヤ議論ヲ爲サラヌヤウニ御注意ヲ願ヒ、成ベク紹介ノ本意ニ悖ラヌヤウニ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ場所モ彼所ハ紹介議員ノ居ラレル場所デアリマセヌカラ、矢張正式ニ此方ヘ御出掛ケニナルコトヲ御要求致シマス、ドウカ其意味ニ於テ諸君ノ御同意ヲ得タイト思ヒマス、御許シテ願ヒタイ

○川崎主査 如何デス、岡田君カラ此際田淵君ニ限ッテ説明ヲ求メルト云フ御意見ガアリマスガ異議アリマセヌカ、如何デス

(「異議アリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○佐藤委員 紹介議員ガ多數出タ場合ニハドウシマス、次カラ次ヘト特例ヲ御許シニナリマスカ
○川崎主査 佐藤君ノハ岡田君ノ御意見ニ反對デスカ
○佐藤委員 反對デス

○川崎主査 ソレジヤ採決致シマス

○田淵豐吉君 許シテ居ルジヤアリマセヌカ

○川崎主査 許シテ居ラヌ、意見ヲ諮ラテ居ル、岡田君ノ說ノ此際田淵君ノ説明ヲ求ムルト云フコトニ贊成ノ委員ノ舉手ヲ願ヒマス

(贊成者舉手)

○川崎主査 少數デアリマス、本問題ヲ院議ニ付スベキヤ否ヤニ付テ委員諸君御意見ヲ承リマス
○井上委員 今マデ此本會議ニ建議ニナツテ、委員會ニ付託シテアル問題ガ請願委員會ニ出マシタ時分ニハ、此請願委員會ハ其建議ノ委員會ノ方ヘ移送シマシテ、此所デ決定シナイコトニナツテ居ル慣例ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フコトニナツテ居リマセヌカ

○川崎主査 今岡田委員カラサウ云フ御注意ガ出テ居ルノデ、御諮リヲシヤウト思ウテ居リマス、如何致シタモノデアリマス、カ、先例ニ依ッテ之ヲ本會ニ於ケル建議ノ進行スルマデ此議事ヲ中止致シマス、如何デスカ

○岡田委員 如何デゴザイマセウ、是ハ私共直ニ採擇シタイト思フノデアリマスガ、併シ本會ノ方ニ御承知ノ如ク各派ガ、而モ有力ナ建議ヲシテ居ルノデアリマス、暫ク此儘デ置イテ置キマシタナラバ、自然此建議ノ模様ニ依テ決セラレルコトデアリマス、如何デアリマス

○井上委員 私モ左様ニ致シタイト考ヘマス

○川崎主査 ソレデハ採決致シマス

○岡田委員 一寸御待チナサイ、出テ居ッテモ採擇シタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、私ハ今ノ說ヲ取消

シマシテ、採擇スルコトニ致シタイト思ヒマス

○川崎主査 井上君如何デス

○井上委員 ソレデハ採擇ノ方ガ宜イ……

○川崎主査 ソレデハ井上君ハ採擇スルト云フコトノ御意見デアリマスカ——井上君カラ此問題ヲ採擇スルト云フ御説ガ出テ居リマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○川崎主査 ソレデハ院議ニ付スベキモノト決定致シマス——次ノ問題ニ移リマス、次ハ日程第二、元青島守備軍民政部鐵道所屬文官待遇者ニ恩給付與ノ件、文書表ノ第二百二十號、第八十六號——是ハ私ノ紹介デスカラ便宜上此席カラ説明致シマス、請願ノ要旨ハ大正三四年ノ戰役即チ日獨戰役ノ際ニ於キマシテ、山東鐵道ヲ我國ノ管理ニ屬サレタノデアリマス、其時ニ之ヲ經營スルニ當テ職員ガ不足シタモノデアリマスルカラ、其當時南滿洲、鐵道ニ從事シテ居ッタ者ニ對シテ、政府ガ轉勤ヲ命ジタノデアリマス、其時ノ政府ノ公約ニ依ルト、普通官吏ノ取扱ヲシテヤルカラ、ト云フ斯ウ云フ公約ガアッタサウデアリマス、ソレデ其心組ヲ以テ九年ノ間職務ニ從事致シテ居ッタ、所ガ大正十二年二月一日ニ廢官トナッタノデアリマス、而シテ其間ハ官吏待遇者トシテ經過シ來タノデアリマスルケレドモ、恩給法ノ適用ヲ受ケラレナイト云フコトニナッタノデ、是ハ洵ニ官制上已ムヲ得ナイ事デハアルケレドモ、併シ其後ニ至ッテ丁度是同様ナ種類ノモノニ對シテ新恩給法ガ發布サレテ、恩給ヲ下ゲラレルト云フコトニ

ナッタノデアリマス、其例ハ即チ明治二十九年臺灣ニ於ケル先例、ソレカラ明治四十四年貴衆兩院ノ速記技手ニ對スル先例、及び最近ニ於テハ大正七年朝鮮ニ於テモ斯ウ云フ類似ノ先例ガアッテ、詰リ前ニ官吏ノ待遇デアッタモノヲ選テ正當ノ官吏ノ取扱ヲシテ、サウシテ恩給ヲ給與シタト云フ例ガ段々アリマスルカラ、此例ニ依ッテドウカ是等ノ者モ恩給ヲ頂戴ヲ致シタイト云フノデアリマス、此請願人ハ二件デ百十名程ニナッテ居リマスルケレドモ、マダ其外ニ五六十名アルサウデアリマス、是等ノ者ハ一般官吏ト同ジ恩典ニ浴スルコトガ出來ズシテ、今日餘程糊口ニ窮シテ居ルヤウナ有様デアリマスルカラ、ドウカ是等ノ事情ヲ酌量シテ、此恩給ノ恩典ニ浴スルヤウニ御取扱ヲ願ヒタイト云フノガ要旨デゴザイマス、ドウカ御採擇ヲ願ヒマス

○岡田委員 當局ノ御意見ヲ……

○下條政府委員 只今アリマシタ請願ニ付キマシテハ、此山東鐵道ノ從業員ノ職務ノ性質竝ニ官制ノ性質ガ、著シク一般官吏ト類似シテ居ッテ、普通ノ待遇職員トハ異ナッテ居リマスカラ、今請願ノ趣旨ニ付キ御述ニナッタヤウナ事情ニ付キマシテハ、洵ニ御同情申ス次第デアリマス、併ナガラ此待遇職員ニ付キマシテ恩給ヲ認メマスコトハ、新恩給法ニ於キマシモ著シク制限サレテアリマシテ、國庫ヨリ俸給又ハ給料ヲ給スル待遇職員ニ付キマシテ認メマシタ例ハ、特ニ恩給法ニ規定シテアリマス外ハ、唯々陸軍通譯ガアルノミデアリマス、隨テ斯ノ如キ待遇職員ヲ更ニ認メマスル

ト云フコトハ、過去ノ權衡カラ申シマシテ相當考慮ヲ要スル點ガ多イト考ヘテ居リマス、又通常恩給ニ付キシテ執リマス主義ハ、總テ或法律ノ制定以後ニ退職シテ居ル者ニ適用致シマスノデアリマス、過去ニ退職シタ者ニ付キマシテ恩給ヲ認メルコトニナリマス、此點ニ付キマシテモ相當類似ノ例ガアラウカト云フコトヲ心配シテ居リマス、此問題ニ付キマシテハマダ茲ニ確ト政府ノ所見ヲ申上ゲルコトガ出來兼ネマスノデ、十分調査研究ヲシタイト思ッテ居リマス

○岡田委員 當局ノ意見ヲ徵シマシテモマダハッキリシマセヌヤウデアリマスガ、一應政府ニ參考トシテ送ッタラ如何デアリマスカ

○川崎主査委員 諸君ノ御意見ハ如何デス

○井上委員 參考送付ニ同意致シマス

○川崎主査 參考送付ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○川崎主査 ソレデハ參考送付ニ決シマス、次ハ日程第三恩給法中改正ノ件、文書表第二百五十四號○八田宗吉君 本請願ハ志賀和多利君外私ノ紹介シタルモノデアリマス、志賀君御見ユニナリマセヌカラ私ヨリ説明申上ゲマス、此請願主旨ハ廢兵中ノ最モ甚シキ廢兵、兩手兩足ヲ失ッタト云フヤウナ最モ重イ第一項傷ニ屬スル廢兵デアリマス、サウ云フ廢兵ハ恩給法ノ改正ニナラナイ前ハ特別ナル取扱ニナッテ居リマシテ、一項傷ノ給與ノ外ニ十分ノ六ヲ加ヘテ與ヘラレツ、アッタノデアリマス、即チ一項傷デ三百圓ト云フトキニハ四百八十圓ヲ與ヘル、斯ウ云フヤウナ待遇ニナッテ居ッ

ノデアリマス、然ルニ昨年改正ニナリマシタ恩給法ハ、斯様ナ廢兵ニ對シテ増加額ヲ十分ノ五ト致シテ、且又其十分ノ五ノ査定ハ從來定メタル所ノ表ニ依ラズシテ、恩給局ニ於テ之ヲ爲スコトニナリマシタ結果、是マデ十分ノ六貫ヲ居テ者ガ十分ノ一シカ貰ハレナイト云フ不幸ニナツテ參リマシタノデ、此請願者等ガ最初ヨリ希望シテ居リマシタ所ハ十分ノ六ハセメテ十分ノ五ハ與レルデアラウト覺悟シテ居リマシタノニ、十分ノ一シカ加給ガナイ、即チ今回九百圓ト云フ金額ヲ賜ハルコトニナツタノハ非常ニ仕合デアル、併シ特別給ハ十分ノ五トシテ、九百圓ニ更ニ四百五十圓、千三百五十圓ヲ賜ハルコトニナツタ、サウナレバ兩手兩足ヲ失ツタ者デモ一箇月百圓餘ニナルカラ、サウスレバ扶養者ガ無クテモ看護婦ヲ僱ニ置イテデモ生活ガ出來ルト喜ンデ居リマシタ所ガ、ソレガ十分ノ六デナイバカリカ、十分ノ一ニシカナラヌ、是ハ誠ニ遺憾デアルカラ、是非之ヲ改正シテ、以前ノ如ク兩手兩足ノ無イ者ニ對シ、國家ガ一旦認メタル十分ノ六ト云フモノヲ恩給局ガ變化スルト云フコトハ、本人ノ從前ノ武勳ニ對シテ甚ク敬意ヲ失スル査定ヲ爲シタモノデアル、斯様ニ憤慨致シマシテ、是非此法律ノ改正ヲ仰ギタイト云フノデアリマス、尤モ此憐レナル廢兵ハ全國ニ於テ五十名位シカアリマセヌ、殊ニ兩手兩足ノ無イ斯様ナ廢兵ニ對シテハ誠ニ同情ニ値スルノデアリマス、尙ホ此事ニ付キマシテハ先般恩給局長ニ交渉致シマシタ所、其狀況ニ依テハ更ニ考慮ヲ加ヘヤウト云フ恩給局長ノ御話モアツタ次第デゴザイマス、トウ

カ御同情下サツテ御採擇アラシコトヲ布望致シマス
○下條政府委員 只今御述ニナリマシタ特別項ニ關スル點ニ付キマシテ恩給法ヲ改正スル必要ガアルト云フ御意見デアリマスガ、ソレニハ二箇ノ點ガアツタヤウニ思ヒマス、第一ハ新恩給法ニ於テハ從前第一項傷ニ加ヘルニ其十分ノ六ヲ加ヘタ金額ヲ支給シタニ拘ラズ、新恩給法ニ於テ十分ノ五トナツタノハ甚ク當ヲ得ナイ、斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ伺ハレマシタ、ソレハ新恩給法制定ノ時ニ十分考慮セラレタ問題デアリマシテ、第一項傷ノ絶對金額ガ新舊比較致シマスト著シキ差等ガアリマシテ、中ニハ數倍ニモ上ツテ居リマスカラ、從來ノ特別項ニ付キマシテハ十分ノ五ノ程度デ十分デアラウト云フコトデ、新恩給法ガ出來テ居ルヤウデアリマス、隨テ今俄ニ其點ニ付テ改正ヲ加フルコトハ如何カト考ヘテ居リマス、次ニ具體的ノ問題ニ付キマシテ、從前十分ノ六ヲ貰ツテ居ラ特別項傷ノ受恩給者ガ査定ノ結果十分ノ一ニナツテ居ル、是ハ甚ダ不當デハナイカ、斯ウ云フ御趣旨ノヤウデアリマスガ、元來新恩給法制定ノ當時此特別項傷ト云フモノハ或ハ之ヲ廢止シヨウト云フ議論モアリマシタ、其理由ハ絶對金額ノ増加ト云フコトデアリマス、併ナガラ免ニ角第一項傷ノ中デモ更ニ程度ノ甚シイモノガアル、尙ホ精神的ノ關係モアルカラ、是非特別項傷ガ必要デアルト云フコトカラ是ガ出來タノデアリマス、隨テ恩給法制定ノ場合ニ於キマシテモ、恩給法施行令第六號表ニ記載シテアリマスガ、第一項乃至第六項ハ從

前ノ通り矢張第一項乃至第六項ニ該當致シマスモノノ致シマシタ、特別項ニ付キマシテハ更ニ其内容ヲ審査スルト云フ主義ヲ採ツテ居リマス、ソレハ金額モ相當高イノミナラズ、其程度ガ相當複雑ナモノデアリマスカラ、十分ニ審査シヤウ、斯ウ云フ趣意デ定メタノデアリマス、ソレデ其主義ハ正堂ナリト私ハ考ヘテ居リマス、若シソレニ對シテ御不滿ノ事ガアレバ、恩給法ノ十七條ニ依テ一箇年内ニ恩給局長ニ具申シ、更ニ其裁決ニ不服ガアレバ訴訟モ訴訟モ出來ルコトニナツテ居リマスカラ、其方デ救済ノ途ヲ仰ガレタラドウカト考ヘテ居リマス
○岡田委員 紹介議員ノ御説明ヲ承リマス、非常ニ氣ノ毒ノ状態ニ在ルヤウデゴザイマス、尙ホ其數モ全國デ僅カ五十名カソコラデゴザイマスカラ、是ハ當局ノ御説明モアリマシタガ、採擇ニ決シタイト思ヒマス
○川崎主査 採擇ニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○川崎主査 採擇ニ決シマス、次ハ日程第四元屯田兵豫備役服務期間ヲ恩給年限ニ通算ノ件、文書表第二百四十六號、第二百四十七號、之ヲ議題ト致シマス
○岡田委員 是ハ私ガ紹介致シマシタ、此北海道屯田兵ノ豫備期間ヲ恩給年限ニ通算スルト申シマスルコトハ、一寸異様デアルト一般ニハ御考ニナルカモ知レマセヌガ、北海道ノ屯田ノ兵制ナルモノガ豫備ト云フ名前ハアリマスルケレドモ、實際ニ於テ現役ト少シモ變ラナカッタノデアリマシテ、今

歷然トシテ居ル其時ノ證左ヲ閱覽致シマシテ、之ニ疑ノナイコトハ十分ニ確證サレルノデアリマス、唯ミ名前ハ豫備デアルケレドモ現役ト同等デアル、現役方愈々恩給ノ恩典ニ通算サレルコトニナツノデアルカラ、是モ共ニ其恩典ニ預リタイト云フノデアリマシテ、是ハ前議會、其前ノ議會ニモ出マシテ、能ク審議セラレタ結果採擇ニナツテ居リマス、ドウカ御採擇ヲ願フ次第デアリマス

〔異譯ナシ〕「贊成」ト呼フ者アリ

○川崎主査 是ハ別ニ政府ノ御意見ヲ聽ク必要ハアリマセヌカ——採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○川崎主査 ソレデハ採擇ト云フコトニ決シマス——次ニ日程第五、皇位並紀元算定ニ關スル件、文書表百九十一號、横山君

○横山金太郎君 簡單ニ御説明申上ゲマス、是ハ我國ノ皇統御太元並ニ肆國ノ紀元ニ關スル請願デアリマシテ、其趣旨ハ、從來皇統ノ御代號ヲ人皇ノ祖神武天皇ヨリ起算シテ居ルノデアリマスガ、併シ是ハ人皇ノ祖ハ太祖ト異姓ノ帝王ニアラセラレズ、又其宗系ヨリ分レテ別ニ一國ヲ立テラレタト云フヤウナ副系ニモアラセラレヌノデアリマスカラ、宜シク此御太元並ニ肆國ノ紀元ヲ天照皇太神宮ヨリ人皇神武天皇ニ算ヘ奉テ、所謂太祖ヨリ通ジテノ紀元ヲ算ヘル、此意味ニ於テ我國ノ曆並ニ教科書等ノ改正セラレタイト云フ趣旨ニ歸著スルノデアリマス、凡ソ多クノ請願中、勿論公共的ノ意味ヲ含マナイモノハ一モ無イノデアリマス

スガ、特ニ此請願ノ如キ、此間何等ノ私心ノ挾マレタヤウナ意味ハナイノデアリマス、サウシテ此請願ハ確カ此前ニモ一度請願ヲ出シマシテ、其時ニハ參考送付トシテ政府ニ送ラレタコトガアルヤウニ思ヒマス、其趣旨カラ申シマシテモ、政府參考以上ニ値スル請願ト思ヒマス、然ルベク御審議アラシコトヲ布望致シマス

○佐藤委員 只今横山君ノ御説ヲ承クノデアリマスガ、日本ガ皇統連綿トシテ二千幾百年ヲ通ジ續キ來タト云フ年限ノ數カラ行キマシテモ、非常ニ世界ニ誇ルベキ年ヲ重ネテ居ルト云フコトハ數字ニ現レテ居ルノデアリマスカラ、是ハ天照皇太神宮ノ御出現ノ時カラ算定スルト云フコトハ、日本ノ威力ヲ發揚スル意味ニ於テ大ニ結構ナ請願デアラウト考ヘマス、併シ是ハ國家ノ重大問題デアリマスカラ、私ノ意見トシテハ參考送付ニシテハ如何カト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○川崎主査 採決致シマス、參考送付ト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○川崎主査 左様ニ決シマス——次ハ日程第六印紙稅法中改正ノ件、文書表第百十二號

○牧野良三君 此請願ノ趣旨ハ略々此報告書ニ載テ居ル所デ盡キテ居リマスケレドモ、思ノ外此請願ハ意義アルモノト解シマス、一應簡單ニ趣旨ヲ申上ゲテ御贊成ヲ得タイト存ジマス、現行ノ我が印紙稅法ハ御承知ノ通り仕切書ハ十圓以上一通ニ付テ三錢ノ印紙ヲ貼用スルコトニナツテ居

リマス、所ガ一般ノ商人ニ向テハ此命令ガ行届イテ居リマセヌ、政府ノ見ラレル所ニ依ルト、平均百通ニ對シテ五通位シカ三錢印紙ヲ貼用シテ居ナイト云フコトデアリマシテ、其結果此法律ヲ強行スル爲ニ、昨年ノ議會ニ於テ違反者ニハ科料ヲ百倍課スルト云フコトニナツタノデアリマス、然ルニ現行法ノ規定ニ依リマス、通帳ハ一ケ年間何十回何百回使ヒマシテモ、又其金額ハ幾萬圓ニ達シテモ、三錢印紙一枚ヲ貼用シテ居レバ宜イノデアリマスガ、仕切書ダケハ十圓以上一通毎ニ必ズ三錢ノ印紙ヲ貼ラナケレバナラスト云フコトニナツテ居リマス、所ガ此仕切書ナルモノハ、御承知ノ通りニ約束手形、借用證書、若クハ土地ノ賣買證書ト云フヤウナモノトハ餘程趣ガ異ツテ居テ、法律上ニモ亦一般經濟上ニモ價值ガ餘リ少ナイモノデアリマス、御承知ノ通り一時的ノモノデアッテ、餘リ保存ラシテ置クト云フコトモナイ、通帳トハ違ツテ、日々ノ必要ニ適ジテ非常ニ多數發行スルコトニナツテ居ルノデアリマス、此所デ此請願ガ出テ參ルノデアリマス、即チ言フマデモナク義務ガ權利ヤ利益ニ比シテ非常ニ重イト云フコトニナリマスト、人情ノ常トシテ之ヲ免ルト云フ方法ヲ講ズルヤウニナル、法律ノ改正以前ニハ仕切書百通ニ對シテ、略、五通位シカ印紙ヲ貼ラナカタト云フ事實ニ徴シマシテモ、如何ニ此法律ガ行ハレナイカ、所ガ行ハレナイ法律ヲ行ハシムルヤウニスル爲ニ、百倍ノ科料ヲ課スルト云フ法律ノ改正ガ出來タト云フコトハ、益、吾々ノ社會生活ニ背馳スル、法律ヲ科料ヲ以テ之ヲ強行スルト云フ政府ノ立法ノ

方針ニナツテ居ル、是デハ畢竟其目的ヲ達スル所以デハナイ、ソレデ請願ノ趣旨ハ此法律ヲ能ク行フコトノ出來ルヤウニシテ、又十分ニ政府ノ收入ヲ確保スル途ヲ執リタイ、ソレニハ三錢ヲ一錢ニシタラドウカ、三錢ヲ一錢ニシタラ現在ノ狀態ニ於テ喜ンデ之ヲ納メルコトニナル、サウシテ政府ノ言フ所ニ依ルト、百通ニ對シテ五通シカ三錢ヲ納メヌ、今度ハ大部分此一錢ヲ貼ルト云フコトニナルト、收入モ之ヲ増加スルコトガ出來ルヤウニナル、ソレデ時ニ依ルト更ニ一歩進ミマシテ、政府ガ振替貯金用紙ノヤウニ仕切書用紙ナルモノヲ拵ヘテ、更ニ一錢ノ價值ヲ之ニ附ケテサウシテ之ヲ用キシメルト云フコトニナレバ、尙ホ一府便利ノ結果ヲ得ル、斯ウ云フガ請願ノ趣旨デアリマシテ、即チ請願者ノ望ミマスル所ハ、國民生活ノ實際ニ副ハシムル爲ニ、印紙稅法第四條第二十八號賣買仕切書、並第三十一號受取書ニ對シテ、一通ニ付三錢トアルノヲ一錢ニ改メルコトニシテ戴キタイ、是ガ請願ノ趣旨デアリマス、洵ニ至當ナ請願ト存ジマスニ付キマシテ、是非此委員會ニ於テモ御採擇アリマシテ、政府ニ於テモ是非此趣旨ニ御改正アランコトヲ布望致シマス

○黒田政府委員 只今色々改正ニ付テ斯ウ云フヤウニシタラ宜イデハナイカト云フヤウ御意見モアリマシタノデ、御趣旨ハ御尤ナ點モアルヤウニ思ハレマスガ、元來印紙稅法ハ御承知ノ通り昨年ノ議會ニ於テ、是ニ付キマシテモ五圓ヲ十圓ニ上ゲタト云フヤウナコトニナリマシテ、其他色々權衡ヲ見マシテ改正ヲ致シマシテ、御協賛ヲ得テ僅

ニ一年ト云フヤウナ狀況デアリマス、昨年之ヲ以マテ權衡ヲ得ルモノト考ヘテ協賛ヲ得タ次第デアリシテ、今日ニ於キマシテハ之ヲ改正スルト云フコトハ、他トノ權衡上如何カト考ヘルノデアリマス、現行ノ通りデ宜シイノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、他日一般ノ改正ノ際ニハ尙ホ考慮ハ致シマスケレドモ、今日ハ之ヲ以テ權衡ヲ得テ居ルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○川崎主査 委員諸君ノ御意見ハ……

○佐藤委員 牧野サンノ御説明デ私共至極賛成デハアリマスケレドモ、脱稅ヲ企テル人ハ單ニ金額ノ相違デハナイト思ヒマス、幾分力共間ニ手數ト云フコトガ含マレテ居リハシナイカト思ヒマス、三錢ヲ一錢ニスルト云フコトハ至極結構デアリマスケレドモ、脱稅ヲスル趣旨ハ幾分力手數ヲ省クト云フコトニ依テ、此脱稅ヲ企テルコトニナリハシナイカト思ヒマス、是ハ趣旨ハ結構デアリマシガ、現行法ノ通り行フトシテ、本案ハ參考送付ニ願ヒタイト思ヒマス

○川崎主査 本案ニ付テ採決ヲ致シマスガ、只今參考送付ノ御意見ガアリマス、之ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○川崎主査 ソレデハ日程第七國有地寺院境内無償下戻ノ件、文書表第百十四號、第百十五號ヲ議題ト致シマス

○安藤正純君 簡單ニ説明致シマス、國有寺院境内無償下戻法ニ付テハ、是ハ殆ド例年請願、或ハ建議案、法律案等ヲ提出致シテアリマスノデ、要

旨ハ寺院ノ境内地ト云フモノハ、何レモ其寺院創立以來數百年ノ久シキニ亙ラテ、歴史的ニ寺院ノ私有地ニナツテ居ルノデアリマスガ、明治初年色々變革ガアツタ際ニ、社寺共ニ上地ヲサレテ今日ニ及ンダノデアリマス、然ルニ其後段々事情モ變リマシテ、同時ニサウ云フコトニシタモノヲ追元ニ還スヤウナ風ニナツテ參リマシタ、社寺ニ於キマシテモ經濟的ニ維持スル上カラ、又國民精神ノ指導ト云フ立場カラモ之ヲ還シテ戴イテ、而シテ體面ヲ維持シ、其事業ヲ遂行シテ行クト云フコトニ必要ナノデアリマシテ、年々衆議院、貴族院等ニ此案ヲ提出致シテ居リマシテ、皆ソレノ趣意ニハ御賛成ニナツテ居ルノデアアル、從來衆議院ニ於キマシテハ、無償還付法律案ト云フモノヲ衆議院ニ提出致シマシテ、可決ニナツタコトガ六回ニ及ンデ居ルノデアリス、ソレカラ又四十六議會ニ於テハ貴族院ニ於テ、政府ハ速ニ之ヲ調査シテ提案ヲスルト云フコトモ明言ヲシテ居ラレヤウナ次第デアリマス、デアリマスカラ此際殊ニ請願ヲ致シマシタ要旨ハ、斯ウ云フヤウナ風ニ政府ガ諒解ヲ得テ御賛成ヲ得テ居ル譯デアリマスガ、マダ最後ノ目的ヲ達シマセヌデアリマス、特ニ請願致シマシタ趣意ハ、去年ノ大震災災ニ依リマシテ東京府下及神奈川縣下ニ於キマスル大慘害ノ爲ニ、寺院ニ於キマシテハ殆ド壊滅ノ慘狀ニ遭ツタヤウナ次第デアリマシテ、寺院ノ體面ヲ維持シテ行クト云フ上ニ於テモ、非常ナ困難ニ陥ツテ居ルノデアリマス、而シテ又寺院ヲ助ケテ行ク所ノ檀徒デアルトカ信徒デアルトカ云フヤウナ者モ、東京府

下及神奈川縣下ニ於キマシテハ、各人自ラ慘害ニ遭テ居ルノデアリマスカラ、自ラノ復興ニ急ニシテ、未ダ寺院ノ爲ニ金ヲ投ジ寺院ヲ復舊サレルマデニ至ラナイノデアリマス、ソレデ寺院ト致シマシテハ非常ナ困難ニ遭遇シテ居ルノデ、寺院ノ興廢ニモ關スルヤウナ譯デゴザイマス、且又寺院ト致シマシテ國民ノ精神生活ノ將來ニモ關係スルコトデアリマスカラ、之ヲ一ツ贊成シテ戴イテ、寺院本來ノ目的デアル國民精神生活ニ貢獻スル爲メ一日モ早ク復興ニ掛リタイト云フ本請願ノ趣旨デアリマス、此請願ノ趣旨ヲ以テマシテ年々願テ居ルモノデアリ、又昨年ノ大慘害ニ罹ッタ爲ニ寺院ノ危機ト云フコトニナッタノデアリマスカラ、此際此點ヲ御酌量ヲ願ヒマシテ、國有地ニナッテ居リマス寺院境内地ヲ無償デ拂下ラシテ戴キタイト云フノガ本請願ノ趣旨デアリマスカラ、何卒御贊成アラント願ヒマス

○太田政府委員 之ニ付キマシテ大藏省トシテノ意見ヲ申上ゲマス、此案ハ御承知ノ通り度々兩院ニ提出セラレマシテ可決ニナッテ居ル案デアリマス、併ナガラ國有地ノ寺院境内無償下戻ト云フコトハ、非常ニ考慮ヲ要スル事デアリマシテ、之ヲ寺院ニ下戻シマシタ後ニ於キマシテ、寺院ノ方ニ於キマシテモ能ク是ガ財産ノ管理ヲ致シマスレバ宜シイノデアリマスガ、其管理方法ヲ誤ッタナラバ、寺院境内地ヲ無償下戻ノ趣旨ヲ却却スルモノデハナイカト考ヘルノデアリマス、就キマシテハ文部省ニ於キマシテ宗教法及寺院財産管理法ヲ御調査ニナッテ居リマスカラ、ソレ等ノモノガ出

來タ上ニ於テ一般的ニ國有地ヲ寺院ニ下附スルト云フ問題ハ、ソレト相須ツテ研究致シタイト考ヘマス、併シ震災地デアリマス彼ノ東京ト神奈川縣ノ方ノ分ダケニ付キマシテハ、或ハ國有地デアアルガ爲ニ、隨テ寺院ノ持ッテ居ルモノヲ收用サレマシタ場合ニ於テ、補償下附ガ十分デナイト云フ意見ヲ度々寺院カラ聞イテ居リマスガ、ソレ等ノ補償下附ニ付テハ所有權ト同様ニ補償ヲスルヤウニ打合ヲ致シマシテ、サウ云フ非難ヲ免レルヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○井上委員 只今政府委員ノ御説明ニ依ルト、下附ノ後ノ管理方法宜キヲ得ザル場合云々ト云フコトガ主ナルヤウニ承リマシタガ、根本ニ於テ大シタ御反對デモナイ、管理方法ナラ何等カノ方法モアラウト思ヒマス、元來衆議院ニ於テモ法律案トナッテ可決マデシテ居ル問題デアリマスカラ、是ハ採決スルガ至當ト思ヒマス

○川崎主査 採決ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○川崎主査 ソレデハ採決ニ致シマス、次ハ日程第八德島縣、兵庫縣ニ於ケル鹽賠償ニ關スル件、文書表百四十號、百四十一號ヲ議題トシマス

○高島兵吉君 食鹽ハ專賣ニナッテ居リマスガ、食鹽ヲ買取ル時分ノ組立ガドウナッテ居ルカト申シマスルト、十州ヲ一區トシテ買取價格ヲ定メテアリマスガ、其十州一區ハ各、利害ガ違テ居リマス、ソレニモ拘ラズ買取價格ヲ一定ニシテ居リマスガ、是ハ製鹽者ノ不平デアリ、困難トシテ居ル所デアリマス、食鹽ヲ製造スル石炭ノ如キハ、山

口縣ハ石炭ニ近イ所デアリマスカラ安價ニ得ラレルガ、德島ノ如キハ甚ダ高イノデアリマス、海上ノ距離ガアリマスカラ運賃ガ高イ、又勞働賃ハ兵庫德島ノ如キハ神戸大阪ニ接シテ居リマスカラ、自然勞働賃銀ガ高イ、即チ原料ニ使フベキモノハ高ク、勞働賃ガ高イ、一方ハ石炭ガ安ク勞働賃ガ安イ、ソレニ拘ラズ買取價格ガ一定シタル、專賣ニナラナイ前ハ兵庫德島ノ如キハ食鹽地トシテハ立派ナ所デ、日本全國ニ超越シタル立派ナ物ガ出來マシタ、サウシテ賣場ハ最モ近イ兵庫大阪デ、賣場ガ近イノデ隨テ運賃ガ安イ、石炭ハ高イ代リニ、運賃ガ安イ、ソレト食鹽ノ性質ガ良イ、專賣ニナラナイ時分ニハ最モ有利ナ地位ヲ占メテ居ッタノデアリマス、ソレガ專賣トナッテ十州一區トナッタ、是ガ兵庫德島ノ根柢ニ於テ違フ所以デアリマシテ、之ヲ變更シテ貰ヒタイト云フ請願デアリマス、是マデモ既ニ採決ニナッテ居リマスカラ御採決ヲ願ヒマス

○土井委員 私モ紹介者ノ一人デアリマスガ、昨年モ採決ニナッテ居リマスカラ何卒御採決ヲ願ヒマス

○川崎主査 專賣局ノ政府委員ハ外ノ委員會デ説明サレテ居リマシテ見エテ居リマセヌ

○井上委員 ソレデハ是ヲ後廻シニ願ヒマス、只今承ルト德島ト兵庫ハ原價ガ高イ、隨テ品質ガ良イ、所ガ同一ノ價格ニナッテ居ルト云フヤウニ伺ヒマシタガ、一體政府ノ買取價格ガドウナッテ居ルカ知リマセヌガ、煙草ノ如キモ上中下ト分レテ居リマスガ、其邊ノ事情ヲ質シテカラ決定シタイ

ト思ヒマス

○川崎主査 井上君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○川崎主査 ソレデハ後ニ致シマス、次ハ日程第九秋港開港ノ件、文書表二百七十八號ヲ議題ト致シマス

○藤田包助君 是ハ山口縣萩デアリマシテ、北海岸ニ於ケル港デ、元毛利家ノ本城タル萩港デアリマス、昨年五月カラ鐵道ガ開通シテ、貨物ノ輸入モ殖エテ三百萬圓五百萬圓ニ達シテ居リマス、之ヲ開港場トセラレタイト云フ請願デアリマス

○黒田政府委員 開港ニ付テハ實ハ十分調査シテ承知シテ居ルノデアリマスカラ、此所デ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、大體開港ニ付テハ輸出入ノ貨物ガ相當ノ額ニ達シテ、開港ニシナケレバ不便デアルト云フ場所ニ限ッテ居リマス、之ニ對シテハ各種ノ取締等モ要スルノデアリマス、經費モ要スルノデアリマスカラ、必要ナル場所ニ限ッテ之ヲ認メルヤウニ致シテ居リマス、開港ニ付テハ門司等モ近イ所デアリマシテ、只今マデ私ノ承知シテ居ル所ニ於テハ、差當リ必要ハナイヤウニ考ヘテ居リマスガ、尙ホ十分調査致ス考ヲ持ッテ居リマス

○秋田委員 此ノ萩港ニ付テハ委員諸君ノ中ニハ御承知デナイ方モアリマセウガ、裏日本ニ通ズル鐵道モ既ニ石見ノ沼田方面マデ延ビテ居ル、不日日本海ニ面シテ開通スルコトニナルノデ、此開港ハ其中間ニ位シテ居ッテ、朝鮮及臺灣ニ輸出スル

品物モ從來相當ニアツタ、然ルニ港ガ完成シテ居

ナイ爲ニ大船巨船ノ繫場ガ無イ、二千噸位ノ船ヲ持ッテ行ッテモ碇泊ニ困難ヲ來シ、ソレガ爲ニ荷役ニ暇ガ要ルノデ、輸出入ニ不便ヲ感ジテ居ル、之ガ山陰線全通ノ曉ニハ、朝鮮及支那大陸ノ船舶及臺灣其他ノ植民地ニ對スル輸出入品モ相當ニアルト考ヘマスカラ、適當ノ方法ヲ以テヤッテ載クコトヲ希望致シマス、出願ノ趣旨ニ委員諸君ノ御贊成ヲ願ヒマシテ、御採擇ヲ希望致シマス

○岡田委員 私ハ萩ハ存ジマセヌケレドモ、裏日本ニ於ケル有數ノ港ト云フコトヲ承知シテ居リマスガ、採擇シテ速ニ地方ノ發展ヲ期セシメタイト思ヒマスガ、ソレヲ開港スルニハ餘程費用ヲ要シマスガ、簡單ニ御聽申シタイ

○黒田政府委員 只今御述ニナリマシタ中ニ、臺灣、朝鮮ニ對シテハ開港ニセヌデモ船ガ出入ヲ致シマス、開港ニスルニドノ位經費ヲ要スルカト云フト、貿易船ノ出入ノ狀況ニモ依リマスガ、大體之ニ小サナ廳舎、數名ノ官吏ヲ要シマスガ、大シタ經費デハアリマセヌ、併シ仕事ガ多クナルト相當經費ガ要リマス

○川崎主査 ソレデハ採擇ニ決シマス、只今專賣局長ガ見エマシタカラ……

○土井權太君 徳島縣、兵庫縣ニ於ケル鹽專賣ニ關スル件デアリマスガ、請願ノ要旨ハ徳島縣並ニ兵庫縣下ニ於ケル製鹽業ハ、之ヲ他縣ニ於ケル製鹽業ニ比較スレバ特殊ノ事由ヲ有スルニ拘ラズ、賠償價格全ク同一ナル爲ニ、甚シク不利ナル狀況ニ在リ、故ニ賠償金額ヲ第一區以上ニセラレタイ

ト云フデアリマス、特殊ノ事由ト云フノハ石炭

ヲ九州カラ取ラナケレバナラスト云フノガ、モウ一ツハ勞働賃銀ガ大阪、神戸ニ近イ爲ニ、九州ニ比較スルト高イニ拘ラズ、販賣價格ハ大分縣ナドヨリ安クナッテ居ル、而モ鹽ノ品質ハ大分縣ヨリモ立派デアルカラ、經濟ノ原則カラ割出スト高ク賣ラナケレバナラス、大分縣ナドハ鹽ガ惡ク石炭モ安イニ拘ラズ、兵庫或ハ徳島縣ヨリ高ク買ハレテ居ルト云フコトデアリマスガ、私ノ説明致シマシタ中ニ間違ッテ居ル所ガアルカモ知レマセヌカラ、高島君カラ……

○高島兵吉君 只今土井君カラ御話ガアリマシタガ兵庫縣徳島縣ハ大分縣ニ比シテ石炭モ高ク、又賃銀モ高クアリマス、然ルニ賣却スル場合ニハ安クナッテ居リマス、昔專賣局ニナラス時代ニハ兵庫縣ノ方ガ高カッタデアリマスガ、今日專賣ニナツタ爲ニ不公平ナ扱ヲ蒙ッテ居リマス、向フハ石炭ヤ賃銀ガ安イノデ大ナル利益ヲ得テ居リマス、是ハ豫算ノ問題ニ關係シナイト思ヒマスガ、公平ニヤッテ貰ヘバ宜イノデス、一方ヲ上ゲテ一方ヲ下ゲルト云フヤウナ、何カ公平ナ方法ニ依ッテオヤリニナレバ目的ハ達セラレルノデアリマスカラ、事情ヲ能ク御酌取リ下サッテ、實行スルコトヲ希望致ス次第デアリマス

○今北政府委員 是ハ二三年前カラ展、請願サレル所デアリマスガ、吾々專賣局ニ於キマシテモ大ニ考慮シタ譯デアリマス、併ナガラ專賣局ニ於キマシテハ見解ヲ異ニシテ居リマスノデ、其點ヲ説明致シマス、請願ノ趣旨ハ只今御話ニナリマシタ

ヤウナコトデアリマスガ、第一ニ石炭が高イ、石炭ノ產地ガ遠イカラ運賃ガ高ク付クト云フコトデアリマス、專賣局ニ於テ調べテ見マスルト云フト、成程石炭ノ產地デアル所ノ山口縣ハ、直ぐ近クニ石炭ガアルカラ運賃ハ要ラヌ、兵庫縣、徳島縣ハ石炭ヲ運ブ運賃ガ要ルデハナイカト云フコトデアリマス、一應御尤デアアルガ、單ニ石炭ノ運賃ガ要ルト云フタケデ、生産費ノ高クナルヤ否ヤヲ決定スルコトハ出来ナイト云フノハ、石炭ノ分量ヲ幾ラ使ハナケレバナラヌカト云フコトガ問題ニナル、今高島サシカラモ御話ガアリマシタガ、例ヘバ山口縣ノ鹽業者ハ比較的薄イ鹹水ヲ造ル習慣ニナツテ居ル、其薄イ鹹水カラ鹽ヲ造ルカラ多額ノ石炭ヲ要スル、百斤ノ鹽ヲ造ルノニ百五十噸ノ石炭ガ要リマス、徳島縣ノ方デハ鹹水ガ割合ニ濃イ爲ニ多額ノ石炭ガ要ラヌ、百斤ノ鹽ヲ造ルノニ百噸カ百十噸位ノ石炭デ済ム、サウ云フコトヲ考慮致シマス、單ニ石炭ノ運賃ガ高イト云フコトノミヲ以テ、生産費ガ高イデハナイカト云フ結論ハ出テ来ナイノデアリマス、此點ニ於テ請願者ノ言フコトガ、多少專賣局ノ見所ト違フノデアリマス、ソレカラ第二點ハ徳島縣、兵庫縣ハ労働者ガ少イ、殊ニ徳島縣ハ京阪地方ヘ出稼スル者ガ多イカラ労働者ガ少イ、隨テ勞銀ガ高イト云フコトデアリマスガ、是モ專賣局ノ調べニ依リマス、ト云フト、全然請願者ノ言フ所ヲ以テ尤ダトスル譯ニモ行カヌノデアリマス、專賣局ハ各地ノ生産費ヲ調べテ居リマスガ、徳島縣、兵庫縣等ヨリモマダ勞銀ノ高イ所ガ各所ニアルノデアリマス、又同ジ

徳島縣、兵庫縣デモ全部高イ譯デハナイ、安イ地方モアレバ高イ地方モアツテ、互ニ錯綜シテ居ル、而モ他ノ高イ労働者ヲ使ッテ居ル所デモ矢張り合ッテヤツテ居ル、ソレハ何故カト云フト勞働能率ニ關係スルノデアリマス、例ヘバ一圓五十錢ノ勞銀ヲ拂フノト、一圓ノ勞銀ヲ拂フノトハ、成程一圓ノ方が生産費ガ安ク付クデハナイカト思ハレマスガ、必ズシモサウデハナイ、一圓五十錢出シテモ能率ガ多ケレバ、其方ガ結局生産費ガ安クナリマス、專賣局ハ各地ニ互ニテ調べテ居リマスガ、何モ徳島縣、兵庫縣デケレバ繼兒扱スル考ハ毛頭ナイノデアリマス、徳島縣、兵庫縣ニ於テハ、生産上改善スベキ點ガ多アルデハナイカト思ヒマス、例ヘバ徳島縣ハ雨ガ多イカラ生産量ガ少クナルト云フコトモ請願ノ第三點ニアリマスガ、是モ排水ノ設備ガ出来テ居ラヌ爲メデアル、雨ガ降ルト鹽田ニ水ヲ溜メテ居ルカラ、天氣ニナツテモ直グ其所ヘ鹽水ヲ撒イテ鹽ヲ取ルト云フ譯ニ行カナイ、ソコデ雨ガ降レバ其水ヲ直グ排水溜ニ入レテシマツテ、天氣ニナルト直グ川ニ排水スルヤウニスレバ生産上宜カラウト思フ、ソカラ兵庫縣ニ於テハ、鹽ヲ焚ク釜ガ他ノ地方ニ較ベルト小サイ、水ガ少シシカ入ラヌ、モット釜ヲ大キクシテ、大量的ニ生産シタラ安ク行クデハナイカト考ヘテ居リマス、數年前賠償價格引上ノ問題ガ起リマシタ時ニモ、矢張り斯ウ云フ點ヲ改善シタラドウカト申シマシタガ、改善スベキ點ヲソツチノケニシテ置イテ、賠償價格ガ安イト言ハレテハ第一消費者ガ迷惑スル、賠償價格ヲ上ゲマス消費消費者ノ負擔ガ増シマ

ス、ソコデ一方消費者ノ側ヲ考ヘテ、賠償價格ヲ上ゲナイデ安ク鹽ヲ供給スルト云フノデ、專賣局ハ其間ニ立ッテ非常ニ苦心慘澹シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ立場カラ申シマシテ、專賣局トシテハ全然此請願ヲ此通り御尤デアルト云フマデニハ至ラヌ譯デアリマスカラ、毎年ノヤウニ請願ヲ受ケマスケレドモ、專賣局デハ尙ホ一層考究シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、又之ヲ區分致スト云フト、一面ニ又弊害ガ起ルノデアリマス、例ヘバ兵庫縣、徳島縣ノ賠償價格ヲ引離シテ、高クスルト云フト、御隣リノ岡山縣、廣島縣モ同様ニシテ引レト云フコトデ、何所ノ賠償價格モ總テ引上ゲルト云フコトニナル、是ハ專賣局ノ鹽ノ價ヲ低廉ニシタイト云フ方針ニ背馳スルノデアリマスカラ、其點ニ付テハ大分考ヘネバナラヌ、又生産費ノ中ニ地代即チ小作料ガ含マレテ居リマス、是ガ又各地違フノデアリマス、殊ニ徳島縣、兵庫縣ノ大部分ニ於テハ、他ノ地方——廣島縣、山口縣ニ較ベマス、地代ガ非常ニ高イノデアリマス、詰リ地主ガ餘計利ヲ得テ居ルト云フコトニナツテ居リマス、其點ハ地主諸君ニ反省ヲ求メテ居リマスヤウナ次第デ、今日兩縣ヲ他ノ地方ト違フ高イ賠償價格ニスルコトハ、承服シ兼ねルノデアリマス

○高島兵吉君 石炭ガ高イト云フコトハ政府委員モ御認ニナツテ居ルニ違ヒナイ、今ノ御演說ニモアル通り是ガ第一ノ理窟ノ本デアアル、即チ請願ノ趣旨ハソコニ在ルノデアアル、食鹽ヲ製造スルニハ石炭ヲドウシテモ使ハナケレバナラヌノデアアル、此石炭ガ高イノデアアル、專賣ニナラヌ時分ニハド

ウカト云へバ、兵庫ノ赤穂邊リデ非常ナ相場ガアツタ、政府委員モ御話ノ通り高イダケノ値打ガ十分アツタノデアル、所ガ專賣ニナツテカラハサウ云フ不公平ナ事ガ出テ來テ、良イ物ガ良イ値ニナツテ居ラス、ソコデ賠償價格ヲ上ゲルトカ何トカシテヤラナケレバナラス、サウ云フ意味デア、是ハ爭フベカラザル問題ダラウト思フ、此請願ノ趣旨ハ最モ重大ナ意味ヲ含シテ居ルト思フ、製鹽業者モ此有様ナラバ食鹽ヲ製造スルコトガ非常ニ困難ナ事ニナツテシマウ、ソコデ是ハ採擇ニナツテ、政府モ或ル程度マデニハ公平ニ修正スルト云フノガ當然ノ事デアラウト思フ、サウ云フ譯デアルカラ、是非此請願ヲ採擇セラレンコトヲ望ムノデアアル

○今北政府委員 石炭ノコトニ付テハ一番初メニ説明致シタ筈デアリマス、成程運賃ガ掛ルト云フコトハ當然ノ事デアリマスガ、石炭ヲ使フ數量ガ違フト云フコトヲ申上ゲタ、山口縣邊リデハ淡イ水ヲ採ルカラ石炭ヲ餘計使フ、ソレカラ兵庫縣トカ徳島縣ハ濃イ水ヲ採ルカラ石炭ガ少クテ宜イ、ソコデ結局石炭百斤當リハ徳島ガ高イカモ知レヌケレドモ、使フ數量ノ價格カラスレバ、必ズシモ高クナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、石炭ノ點ハ御分リニナツテ居ルト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ今日ノ狀況デハ鹽其物ト致シマシテハ、徳島ノ板西、兵庫ノ赤穂ノ鹽ガ必ズシモ良イ鹽デナイノデ、品質ハ皆ナ專賣法ニ依テ含有シテ居ル鹽化曹達ノ「パーセント」デ決メマスカラ、今日ハ兵庫縣ノ鹽デモ何所ノ鹽デモ三等ナラ三等ト云フコトニナレバ、皆ナソレハ同じ事デアアル、赤穂

ノ鹽ハ良イトカ、徳島ノガ良イト云フコトハ段々サウ云フコトデ消滅シツ、アル、其點ニ於テ此兩縣ノ鹽ヲ高クシナケレバナラスト云フ理由モ無イノデ、本請願ガアルニ拘ラズ、吾々ハマダ從前通り斷行致シテ來テ居ル次第デアリマス

○井上委員 色々紹介者ノ御意見竝ニ政府當局者ノ御意見ヲ承リマシタガ、要スルニ生産費ガ高ク付クト云フコトダケハ政府モ認メラレテ居ルノデアルガ、其ノ生産費ガ高ク付クト云フコトハ政府ハ認メラル、ガ、又一方ニハ石炭ノ代價ガ高ク付クケレドモ、鹹水ノ度合ノ點ニ於テ一方ハ濃イカラ石炭ガ少イガ、一ハ淡イノデ石炭ガ多ク掛ルト云フ點デ、其點ニハ意味ガ無イヤウデアリマスガ、一方ニ又小作料ノ高イト云フコトハ認メラレテ居ルヤウデアリマス、尙ホ製造方法ニ付テ能率ノ上ル上ラスト云フ點ダケニハ多少ノ違ハアルコトデアラウト思フ、併ナガラ何レニ致シマシテモ、現在ニ於テ兎ニ角生産費ガソレダケ高ク付クト云フコトダケハ、政府モ認メテ居ラレルコトデアリマスカラ、是ハ採擇ヲ致シマシテ、政府ガ能ク御調査ニナツテ、當業者ヲモ獎勵シマシテ、成ベク能率ノ上ルヤウニシテ、サウシテ生産費モ安クナル方法ヲ獎勵シ、又一面ニ於テハ當業者ニ於テモ能クソレヲ容レラレルコトニシテ、此間ニ何等カノ解決ノ方法ヲ得ルコトニシテ戴キタイト思ヒマス、其意味ニ於テ是ハ採擇シテ戴キタイト思ヒマス

○土井委員 私モ鹽ノコトハ餘リ詳シクハ分ラヌノデアリマスガ、排水ガ良イトカ惡イトカ云フ御話ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ常ニ干拓ノコ

トヲ研究シテ居ルノデアリマシテ、潮ノ干満ト云フコトヲ餘程各國ノヲ調べテ居リマス、廣島縣デアルトカ、或ハ岡山縣ハ非常ニ干満ノ差ガ多イノデ、一丈二尺モ潮ノ干タ時ニハ差ガ出來ル、所ガ兵庫縣デアルトカ、徳島縣ハ私知リマセヌガ、アノ方面ハ——殊ニ此兵庫縣ナドハ殆ド此干満ノ差違ガ無イノデス、ソレガ爲ニ雨水ナドガ段々入ッテ來ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、何レノ點カラ申シマシテモ生産費ハ他ヨリ高イ、只今井上サンノ御話ノヤウニ、小作料モ高イコトハ政府ニ於テモ認メラレテ居ル譯デアリマス、何卒御採擇アラントラ希望致シマス、サウシテ政府ニ於テモ餘程其點ヲ將來御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、サウシテ生産方法ニ改良ヲ加ヘル點ハ改良ヲ加ヘサセナケレバナラスト思ヒマス、又只今政府ガ鹽ヨリ餘リ利益ヲ得テ居ララスト云フコトモ、吾々ハ知ツテ居ル譯デアリマス、併ナガラ一方生産業者ニモ御同情ヲ垂レラレンコトヲ願ヒタイノデアリマス、ソレ故ニ是ハ御採擇アラントラ願ヒタイノデアリマス

○川崎主査 採決致シマス、只今井上君ヨリ採擇スベシト云フ御議論ガ出テ居リマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○川崎主査 ソレデハ採擇ニ決シマス——次ハ日程第十、農家救済ノ件ヲ議題ト致シマス

○福井甚三君 只今日程ニ上ツテ居リマス農家救済ノ件デアリマスガ、近時農家ノ疲弊困憊ハ其極ニ達シテ居ルコトハ、既ニ諸君モ御承知デアリマ

セウガ、農産生産物ノ價格低廉ナルニ反シ、農家ニ於ケル生活必需品ハ益、高クナツテ經濟的ニ價ハナイト云フコトデ、困憊ヲ致シテ居ルト云フ原因ニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ緩和致シマスルニツキマシテハ、本請願ノ趣旨ト致シテ、外國農産物ノ輸入關稅ノ——改良農具並ニ肥料輸入稅ノ撤廢ヲシテ實ヒタイ、及農民ノ負擔輕減ノ途ヲ講ゼラレンコトヲ望ムト云フノガ本請願ノ大體ノ趣旨デアリマス、農村ノ負擔輕減ニ付テハ色々ノ手段モアリマセウガ、第一ニ外國農産物ノ輸入、關稅ノ増額、改良農具、並ニ肥料輸入稅撤廢ニ關シテ、當局ノ明快ナル御意見ヲ御聽キヲ願ヒマシテ、何卒御採擇アランコトヲ切ニ望ム次第デアリマス

○黒田政府委員 只今御述ベニナリマシタ中デ、特ニ農家ノ負擔ヲ輕減スル爲ニ、農産物ノ輸入關稅ヲ引上げ、並ニ改良農具肥料ノ輸入稅ヲ撤廢スルヤウニ、ソレニ對スル政府ノ意見ヲ聽キタイト云フ御話デアリマシタガ、特ニ此點ニ限局シテ所見ヲ申シ上ゲルコトニ致シマス、農家ノ負擔ヲ成ルベク輕減スルト云フコトノ御趣旨ハ御尤ノコトト考ヘルノデアリマス、此農産物ノ輸入關稅ヲ引上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、一方内地ニ於キマシテ此農産物ヲ消費スル者ノ方面ヲ考ヘテ見ナケレバナラスノデアリマス、即チ國民生活ノ必需品ニ付キマシテ、消費者ノ側ニ於キマシテドウ云フ關係ニナルカト云フコトニ付テモ、十分ノ考究ヲ致サナケレバナライノデアリマス、又内地ノ生産ノ額其他ニ付テモ考究ヲ致サナクテハナライノデアリマサルカラ、直ニ此農産物ニ付テハ、總テ此關稅ヲ引上ゲ

ルガ宜シイト云フコトヲ一概ニ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、肥料ノ如キニ付キマシテハ御承知ノ通り既ニ大體無稅ガ原則ニナツテ居ルノデアリマス、農具ニ付キマシテハ又内地ノ生産狀況等ニ付テ、農具ノ生産ノ狀況等ニ付テモ十分ニ考究ヲ致サナクテハナラスノデアリマスルカラ、今直ニ是等ノ點ニ付テ御同意申上ゲルト云フコトハ困難デアリマス、各般ノ事情ヲ調査致サナクテハナライノデアリマス、ドウシテモ此關稅ニ付キマシテハ、他ノ席ニ於テ大藏大臣カラモ御話ガアリマシタ通り、既ニ今日ノ關稅定率法ガ明治四十三年ノ制定ニ掛ツテ居ルコトデアリマスガ、是等ニ付キマシテ色々調査研究ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ際ニ於テ十分ニ御趣意ノ點ハ參考ニ致シマシテ、十分ニ研究ヲ致ス積リデアリマス

○土井委員 此農産物ノ輸入稅ノ御説明ヲ承ツタノデアリマシタガ、小麥何カト云フヤウナモノモ年々輸入ガ増エ、日本ニ於テモ二毛作ノ小麥ヲ作ルト云フヤウナ者ハ減ツテ居ルヤウニ思ヒマス、ソコデ小作爭ノ起ル原因モ色々アリマスガ、詰リ小麥ナラ小麥、麥ナラ麥ト云フ方面デ相當利益ヲ得ル、故ニ米ノ如キハ少々地主ノ方ヘ澤山取ラレテモ辛抱ヲ致シテ居ッタノデアリマス、所ガ段々段段小麥ナドヲ作ツテモ引合ハス、サウスレバ小作農ト云フモノ、收入ト云フモノノガ減ル、ソコデ已ムヲ得ズ直接行動ニ出デ、地主ノ方ニ年貢米ヲ納メヌ、斯フ云フヤウナコトニナツテ居ルト私ハ考ヘルノデアリマス、唯ミ單ニ消費者消費者ト言ハレテモ、小麥等ガ小々高クナツタガタメニ、ソレ

デ消費者ガ困ルト云フコトハ餘リ無イト思ヒマス、ソレヨリモ此小作爭議ナルモノハ一層盛ニナツテ思想ノ要化スルト云フコトハ甚ダ宜シクナイ、ドウシテモ此農産物ノ輸入稅ト云フモノニ付テハ、幾分カ何等カノ御斟酌ヲ願フテ保護政策ヲ執ラナケレバナラス、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレカラ改良農具、是ハ丁度外國カラ來ルヲ安クシタナラバ、日本ノ改良農具製造者ガ困ラウ、斯ウ云フ御考デアルカモ知レマセヌガ、私ガ萬年筆ヲ使ツタ事カラ考ヘテモ、日本ノハ役ニ立タヌ、直グ壞レテシマフ、ソコデ吾々ハ外國製ノ萬年筆ヲ使フ、改良農具デモ必ズソナ點ガアラウト思フ、日本デ拵ヘタ物ハ不可デアル、外國ノ物ハ非常ナ堅固ナ點ガアルカモ知レスト思フ、ケレドモ私ハ農具ノ事ハ詳しく分リマセヌガ、萬年筆カラ推定致シマスルトサフ云フコトニナリハシナイカ、仍テドウシテモ改良農具ナドガ外國カラ來ル場合ニハ、稅率ヲ低クスルトカ、或ハ撤回スルトカ云フヤウナコトニシテ戴キタイ、是ガ取モ直サズ農村振興上ノ施設トナリハシナイカト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレカラ此頃奢侈稅ガ何トカセラレルト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレハ勤儉貯蓄ノ點カラ奢侈稅ヲ起スコトニナルノデアリマセウガ、之ヲ農村ノ人カラ言ハスト、實狀ニ於テハ却テ奢侈品ヲ造ル人、所謂商工業者ヲ保護スルコトニナツテ、ア、云フ商賣スル人ハ稅ガ高クナルカラ安クハ賣リマセヌ、斯ナコトニナツテ都會ノ商工業者ヲ保護スル、然ルニ奢侈品ノ如キハ中々稅位ノコトデ買ハナイト云フ人ハ

無イ、矢張酒飲家ハ少々酒ノ稅ガ高クナツテモ飲ムト同ジヤウニ、煙草ガ敷島十五錢ニシテモ矢張敷島ヲ喫ムト云フヤウナ風ニ、アノ位ノ稅デハ却テ都會ノ商工業者、奢侈品ヲ取扱ヒ、或ハ製造スル人ヲ保護スルノミデアル、何等効能ハ無イト云フ位ニ農民ハ言ウテ居ルヤウナ事情デアリマス、餘程此點ナドヲ御酌量ヲ願ウテ此農產物ノ輸入稅ヲ引上ゲ、ソレカラ改良農具ノ關稅ヲ取ラナイト云フコトニシテ戴ク方ガ、實際ニ於テハ農民モ宜シ、又國家ノ上カラ言フテモ宜イデハナカラウカト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレハ役所デ御考ナサルノト實際問題トノ相違デアリマス、只今ノヤウニ實際ハ相成ルト私ハ斯ウ確信スルノデアリマス、仍テ此農家救済ニ關スル件ハ速ニ御採擇アラセラレンコトヲ希望スル譯デアリマス、又政府ニ於キマシテモ實際ノ狀態ハドウデアアルカト云フコトヲ御研究ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○川崎主査 別ニ御意見ハアリマセヌデスカ

〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ

○川崎主査 採擇スルコトニ御異議ハ無イヤウデアリマスカラ左様ニ決シマス——次ハ日程第十一萬國貨幣法統一ノ件、文書表第九十號ヲ議題ト致シマス

○横山金太郎君 此請願ハ極メテ簡單明瞭ト思ヒマス、即チ萬國ノ貨幣法ヲ統一スルト云フコトニ在ルノデアリマス、其趣意ハ萬國ノ幣制ガ統一シテ居ラス爲ニ、對外貿易、旅行其他ニ於テ非常ナル

不便ト不利ヲ被ツテ居ルモノヲ除去致シタイト云フコトニ在ルノデアリマス、此案ニ付キマシテハ屢、請願ガ出マシテ、當局ノ御説明ニ依リマスルト、案ノ内容ハ、極メテ善良デアツテ且ツ適切デアルケレドモ、何シロ餘リニ問題ガ大ナルガ爲ニ、直ニ之ヲ實行スルト云フコトニ付テハ同意シ兼ネルト云フヤウナ御説明デアツタト考ヘチ居リマス、併シ案ノ内容實質ガ既ニ善良デアツテ、之ヲ行フニ於テ其幣ヲ矯メルコトニ適切デアルト云フコトガ定マツテ居リマスル以上ハ、時ノ流レト政府ノ努力、並ニ列國ノ諒解ヲ得ルニ於テハ、案ノ實質内容ガ自ラ可能性ヲ有ツテ居ルコトハ明カデアリマス、此問題ハ請願委員會ニモ度々出マシテ、イツモ採擇ニナツテ居リマスカラ、ドウカ御採擇下サイマシテ、政府ヲ督勵鞭撻スル意味ヲ加味セラレマシテ、御採擇ヲ給ハランコトヲ希望致シマス

○富田政府委員 本件ハ前ニ二三回請願ノアツタコトヲ承ツテ居リマス、國際貨幣統一ノ問題ハ、世界交通ト國際經濟ノ發達ノ上カラ申シマシテ、重大ナル關係ヲ有スルモノデアリマス、各國ノ貨幣ガ違ツテ居ル爲ニ、旅行者モ困ルノミナラズ私共國際經濟ノ功究ニ從事スル者ハ、物價ノ比較或ハ財政貿易ノ比較ノ場合ニ於テ、貨幣ノ換算ニ手數ト勞力ヲ要スノデ、小ニシテハ國際經濟上、之ヲ大キク言ヘバ人ノ發達ノ上ニ障害ヲ來タスノデアリマス、從來此問題ニ付テ、三回モ國際ノ會ガアリマシテ、此問題ヲ議シマシタケレドモ、國際貨幣統一ト云フ高遠ナル理想ノ外ニ、佛蘭西、亞

米利加ガ銀ヲ各國ニ使ハセヤウト云フ動機ガ其間ニ介マツテ居ル爲ニ會議ガ纏ラナイノデアリマス、所ガ戰爭以來國際協調ノ氣風ガ盛ニナツテ、或ハ華盛頓ノ軍備制限會議トカ、或ハ各種ノ財政會議等ガ行ハレ、國際運動ノ氣分ガ起テ來マシタカラ、貨幣統一モ國際運動トシテ何レ具體化スルコトカト思ツテ居リマス、歐洲ニ於テ國際銀行ヲ作ルコト、カ、國際紙幣ヲ作ルコトトカ、國際的ノ公債ヲ發行スルコトガ、獨逸ノ賠償問題、或ハ戰時債務ノ問題ニ關聯シテ提議サレマシタガ、各國ハモット緊切ナ問題、例ヘバ紙幣制度ノ問題、或ハ金ノ輸出解禁ト云フヤウナコトデ困ツテ居リマスノデ、貨幣統一ノコトハ未ダ國際運動ノ軌道ノ上ニ乗ツテ來ナイ現狀デアリマス、併シ此問題ハ何時カハ實現サレルト思ヒマスノデ、大藏當局ハ常ニ研究シテ居リマスケレドモ、マダ國際會議ニ提起スル程研究ガ積ンデ居リマセヌ、此際自分ノ問題ヲ申上ゲルノハ恐入リマスガ、私ハ先年米國ニ參リマシテ、支那ノ幣制改革案ヲ唱ヘマシタ「ゼンクス」ト云フ人ガ「セーム、マニー、リーグ」ヲ作ツテ居リマス、私モ此「リーグ」ノ會員ニ參加致シマシテ、此運動ニ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、多少此事ニハ力ヲ盡シテ居リマス、是ハ私個人ノ話デアリマスガ、併シ政府トシテモ主義トシテハ之ヲ認メテ居リマスガ、研究ヲ重ネツツアルノデアリマシテ、機會ヲ逸シナイヤウニ此問題ニ善處スル程度ニ在ルト云フコトヲ、御承知ヲ願ヒマス

○井上委員 本件ハ理想トシテ賛成スベキ問題デアリマス、併シ實行上ニ於イハ如何デアリマスカ、兎ニ角賛成スベキ案デアリマスカラ採擇ヲ希望致シマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○川崎主査 御異議ガナケレバ採擇ニ決シマス——是デ日程ハ終リマシタ、請願委員ノ總會ヲ水曜ノ九日ノ午前十時ニ開クコトニナッテ居リマスカラ、何レ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後零時十八分散會

大正十三年七月十二日印刷

大正十三年七月十四日發行

衆議院 事務局

印刷者 印刷局